

# 東北地方 1か月予報

(10月4日から11月3日までの天候見通し)

平成15年10月3日  
仙台管区気象台発表

## <予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の実現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

天気は数日の周期で変わるでしょう。

向こう1か月の平均気温は平年並、降水量は平年並か少ない、日照時間は平年並か多いでしょう。

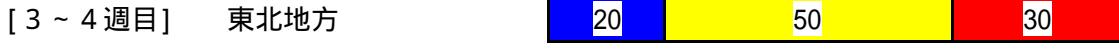
週別の気温は、1週目は平年並か低い、2週目と3～4週目は平年並の見込みです。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

## <気温経過の各階級の確率(%)>



■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

## <予報の対象期間>

1か月 : 10月 4日(土)～11月 3日(月)

1週目 : 10月 4日(土)～10月 10日(金)

2週目 : 10月 11日(土)～10月 17日(金)

3～4週目 : 10月 18日(土)～10月 31日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は10月10日

3か月予報：10月23日(木) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温 ( )	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	気温( )		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	13.2	139.2	147.7	15.4	14.1	12.1
新庄	11.7	158.3	101.6	14.3	12.7	10.5
若松	12.5	75.6	118.7	15.2	13.6	11.2
深浦	12.7	161.9	130.6	15.0	13.7	11.7
青森	11.9	110.0	148.5	14.4	12.9	10.8
むつ	11.6	113.5	157.6	13.9	12.6	10.6
八戸	12.1	77.9	163.5	14.4	13.1	11.0
秋田	13.0	160.3	143.1	15.4	13.9	11.9
盛岡	11.1	98.7	147.7	13.6	12.1	9.9
宮古	12.5	105.9	157.0	14.7	13.5	11.5
酒田	14.1	176.4	138.4	16.3	15.0	13.0
山形	12.5	76.8	130.4	15.0	13.6	11.4
仙台	14.2	97.6	153.2	16.5	15.2	13.2
石巻	13.6	101.7	160.4	15.9	14.6	12.5
福島	14.1	93.2	141.6	16.5	15.2	13.0
白河	12.6	105.1	146.4	14.9	13.6	11.5
小名浜	15.5	147.1	158.0	17.6	16.4	14.5

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5~+0.3	81~110	96~104
東北日本海側	-0.6~+0.3	87~109	96~103
東北太平洋側	-0.4~+0.4	67~118	97~105

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6~+0.6	-0.8~+0.6	-0.5~+0.5
東北日本海側	-0.6~+0.6	-0.8~+0.6	-0.6~+0.4
東北太平洋側	-0.5~+0.6	-0.7~+0.6	-0.5~+0.5

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成15年10月3日 仙台管区気象台

## 1. 実現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(10月4日～11月3日)：

天気は数日の周期で変わるでしょう。

平均気温は寒暖の変動は大きいですが、平年並でしょう。

1週目(10月4日～10月10日)：

明日(4日)は気圧の谷の影響で東北日本海側の北部で天気のくずれる所がありますが、その他の日は高気圧に覆われ概ね晴れる見込みです。

平均気温は平年並か低いでしょう。

2週目(10月11日～10月17日)：

天気は数日の周期で変わるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

3～4週目(10月18日～10月31日)：

天気は数日の周期で変わるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

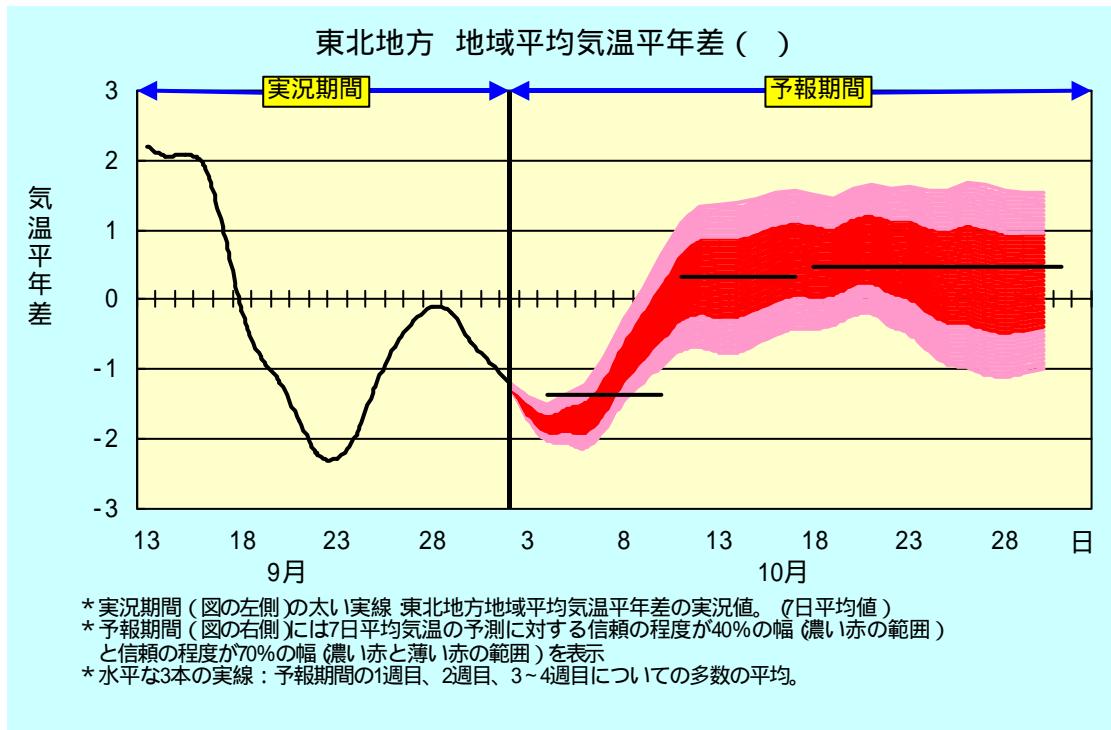
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3～4週目
東北日本海側	13.1日	3.4日	3.3日	6.4日
東北太平洋側	16.0日	3.7日	3.9日	8.4日

## 2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目は「低い」、2週目は「平年並」、3～4週目は「平年並」と予測している。予報は、その他の資料から1週目を「平年並か低い」に変更する。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

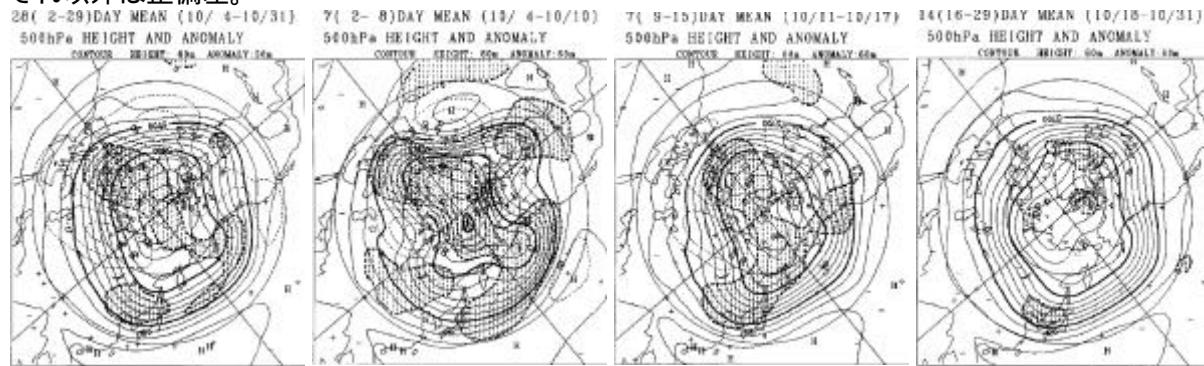


### 3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、極東域での流れはゾーナル場(やや西谷)。北日本から中国東北区にかけては負偏差で、それより南は正偏差。天気は数日の周期で変わる見込み。

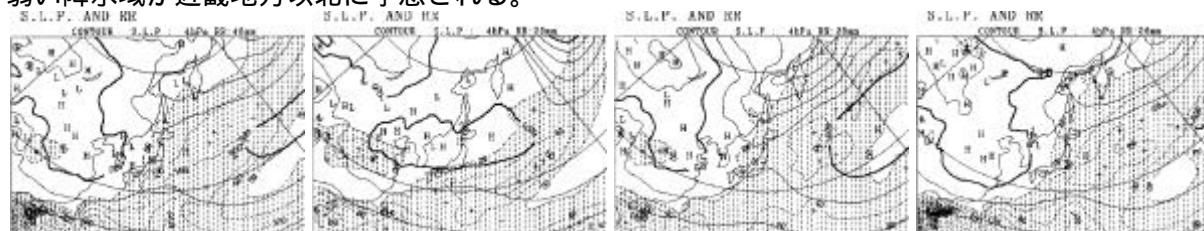
週別に見ると、1週目は、日本付近はゾーナルな流れで、東日本以北と中国東北区の西側には負偏差の領域が広がり、寒気の影響を受ける時期がある見込み。2週目は、極東域の流れはゾーナル場だが、やや西谷。日本付近は北日本から日本海以北は負偏差で、それより南は正偏差。3~4週目は、極東域はゾーナル場(やや西谷)。日本付近は朝鮮半島から中国東北区は負偏差だが、それ以外は正偏差。



地上気圧と降水量：

月平均では、周期変化パターンで、北日本には弱い降水域がかかる程度。

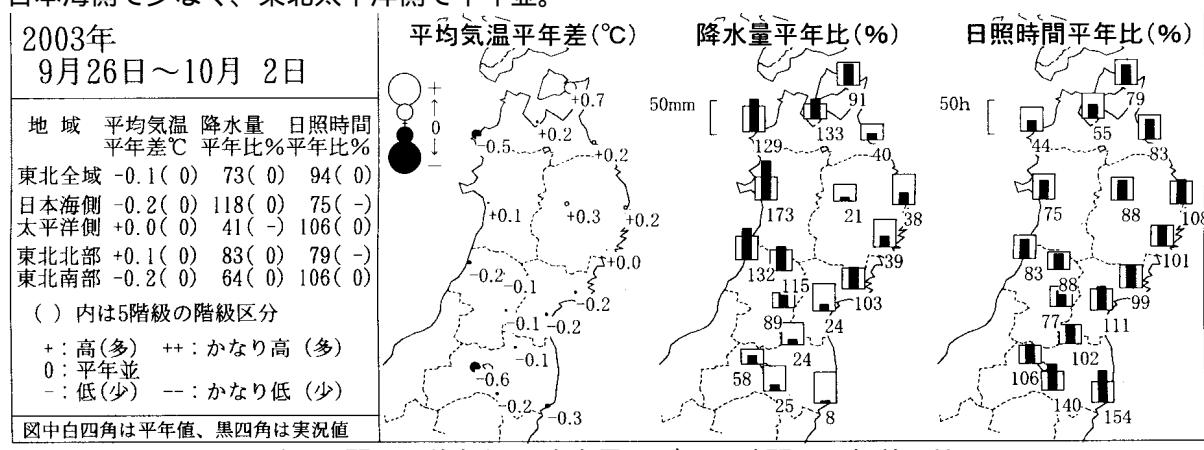
週別に見ると、1週目は、東日本以北は高圧帯に覆われる。2週目以降は、周期変化パターンで弱い降水域が近畿地方以北に予想される。



### 4. 最近1週間(9月26日~10月2日)の天候の経過

この期間、短い周期で前線や気圧の谷が通過したため東北日本海側では曇りや雨の日が多かった。東北太平洋側では26日と1~2日にかけて雨となった他は天気のくずれは小さかった。

平均気温は平年並。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)